

10月27日(火)～
11月9日(月)は
読書週間

大人向けの講座も開催！ 読書の秋です 図書館へ行ってみませんか

市立図書館では、小さなお子さんが本と出会い、本を読む楽しさを知り、本を通して知る喜びを体験できるように映画会やおはなし会などを開催しています。この機会に参加してみませんか。

	日程	時間	内容 ※会場が記載されていないものは各開催館で行います	対象・申込方法
下連雀図書館 ☎43-9159	10月27日(火)～ 11月9日(月) ※10月28日(水)、 11月2日(月)～ 4日(水)は休館	午前9時30分～ 午後5時	展示「下連雀としゃかんで人気の 絵本ベストランキング♪」	☑当日会場へ
三鷹図書館 (本館) ☎43-9151	10月28日(水)	午後3時30分 から	きてみよう おはなしいっぱい 協力:地域ボランティア	☑5歳以上20人 ☑当日会場へ
	11月4日(水)	午後3時から	つくってあそぼう!	☑幼児以上20人 ☑当日会場へ
東部図書館 ☎49-3851	10月28日(水)	午後3時から	おはなし会 てあそび・エプロンシアター 協力:地域ボランティア	☑幼児以上20人 ☑当日会場へ
	11月4日(水)	午前10時30分 から	「秋いっぱい」のおはなし会 協力:地域ボランティア	☑乳幼児と保護者 ☑当日会場へ
西部図書館 ☎33-1311	10月28日(水)	午後3時から	おはなし会 ストーリーテリング・パネルシアター 協力:わたげの会	☑幼児以上20人 ☑当日会場へ
	11月4日(水)	午後3時～ 4時30分	秋のお楽しみ子ども映画会 「エルマーの冒険」	☑60人 ☑当日会場へ(先着制)
	11月5日(木)	午前9時45分～ 10時45分	読み聞かせステップアップ講座 「わらべうた」 講師:わらべうたの会ひいふうみの 小林良子さん	☑読み聞かせボランティア をしている方20人 ☑10月27日(火) 午前10時から同館へ
午前11時15分 ～11時45分		あかちゃんといっしょにわらべう たであそぼう! 講師:わらべうたの会ひいふうみの 小林良子さん	☑0～1歳のお子さんと 保護者15組 ☑10月27日(火) 午前10時から同館へ	
三鷹駅前図書館 ☎71-0035	10月28日(水)	午後3時から (2時45分開場)	小さいお子さん大歓迎! あきやま ただしさんの絵本ライブ 講師:絵本作家のあきやまただしさん ☑三鷹駅前コミュニティセンター	☑幼児と保護者100人 ☑当日会場へ(先着制)
	11月4日(水)	午後3時から	ちいさい子むけおはなし会	☑乳幼児と保護者10組 ☑当日会場へ

国立天文台 三鷹・星と宇宙の日

☎国立天文台三鷹キャンパス☎34-3600

ガリレオが初めて望遠鏡で天体観測をしてから400年目の今年は「世界天文年」。その節目の年に、国立天文台で「天文学と望遠鏡の400年」を考え、遠い星と宇宙に思いをはせてみませんか。普段は見られない観測施設や実験装置も公開します。

☎10月24日(土)午前10時～午後7時(入場は6時まで)

☑同キャンパス(大沢2-21-1)

☑当日会場へ



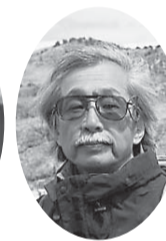
講演会

①すばる望遠鏡から30m望遠鏡TMTへ＝家正則さん(国立天文台 総合研究大学院 教授<写真左>)、②電波望遠鏡の進化と電波天文学の発展＝石黒正人さん(国立天文台名誉教授<写真右>)

☎10月24日(土)午後1時15分～3時30分

☑同キャンパス
内解析研究棟

☑当日会場へ



星と森と絵本の家 秋まつり2009

～むかしなつかしほのぼの宇宙～

星と森と絵本の家では、絵本のテーマ展示「見る・知る・感じる絵本展～月とおつきさま～」、昔懐かしの駄菓子などの縁日や喫茶コーナーの出店のほか、昔遊び体験コーナー、紙芝居やお話し会を開催します。

☎10月24日(土)午前11時～午後4時(施設は午前10時～午後5時開館)

☑星と森と絵本の家(同キャンパス内)

☑当日会場へ

☑同施設☎39-3401

健康コラム
膀胱がんの早期発見と治療について

膀胱は消化酵素や糖代謝のホルモン産生など大切な働きを持っていますが、どこにどうあるのか、あまり知られていないかもしれません。膀胱はお腹の奥、胃の裏側にあり、「たらい」に似た扁平な臓器です。膀胱の疾患としては、急性膀胱炎、慢性膀胱炎などの炎症、糖尿病、そして様々な腫瘍、特に膀胱がんが挙げられます。膀胱がんは多くの悪性腫瘍の中でも早期診断が難しく、進行も早いことから最も難治性のがんとして認識されています。

わが国では年間2万人以上が膀胱がんと新たに診断され、8番目に多いがんです。膀胱がんの治療としては切除手術が唯一治癒の期待できる治療であり、そのためには早期診断が必要です。しかし、特徴的な症状が少なく、検査も難しいことから、進行した状態で見つかることも多いのが現状です。

膀胱がんの症状としては胃が痛いなどの腹痛、背部痛、尿管閉塞による黄疸、糖尿病の増悪、食欲不振、体重減少などが挙げられますが、膀胱がん特有なものではありません。早期診断のためにはこれらの症状が続くときには膀胱をしっかりと調べてもらう必要があります。担当医に遠慮なく「膀胱がんが心配」と申し出てください。膀胱がんの高危険因子として、近親者に膀胱がんがある、糖尿病、慢性膀胱炎、膀胱のう胞が挙げられ、これらの危険因子を持つ方は定期的にチェックを受けることが大切です。特に、突然糖尿病が発症したり、急に糖尿病が悪化したときなどは、ぜひ膀胱の専門医に相談してください。

膀胱がんは切除できない状態で見つかることも多く、切除できても再発が非常に多い、やっかいな疾患です。手術以外の治療として、抗がん剤による化学療法や放射線療法との組み合わせの治療があり、どんどん進歩しています。これらの治療を適切に受けることで、いい状態で生活していただき、延命につながっています。膀胱がんの治療では、外科医、化学療法、放射線療法、緩和治療の専門医や看護師、薬剤師などチーム医療の重要性が増しています。

☎三鷹市医師会☎47-21155